



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2015-2016年度 第15週報 No. 1904 2015年(平成27年)10月23日 第1904回 例会記録 10月30日発行

本日〈10月30日〉のプログラム

インフォーマル・ミーティング 夜間例会

「**本日のBGM**」
アルバム「ベスト・オブ・ボサノバ vol.1」より



PHOTO 小池將夫会員

司 会 小山 市康 副幹事

誕生日祝 加野 亮一 会員(10月28日)

富居 利貞 会員(11月3日)

点 鐘 江森 国一 会長

齊 唱 「手に手つないで」

四つのテスト 山本 芳弘 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)



ビジター紹介 神奈川RC 金野 克佐 様
横浜MM21RC 山田 晃久 様

2015-2016年度 RI会長 K.R.“ラビ”ラビンドラン



世界へのプレゼントになろう

第2590地区 ガバナー 箕田 敏彦

会 長 江森国一	会 計 渡邊淳
会長エレクト 植田清司	副会計 白井康夫
副会長矢野修二	S A A 長井章
副会長加藤仁昭	副S A A 白鳥厚夫
幹 事 朝日達夫	副S A A 澄谷高弘
副幹事小山市康	クラブ会報 田中龍太郎

結婚記念日祝

天野 公史 会員（10月29日）
伊澤 政宏 会員（11月3日）

**入会記念日祝**

吉橋佐千男 会員（10月28日）
田邊 正彦 会員（10月31日）

**会長報告**

江森 国一 会長

- 10月20日に、佐藤青少年奉仕委員長、友添前年度青少年奉仕委員長と、フェリス女学院へ活動資金をお届けして参りました。

幹事報告

朝日 達夫 幹事

- 次週、例会は夜間例会となりますので、お間違えないようお願い致します。
- 前年度の年次報告書が出来上がりましたのでボックスへ配布致しました。

出席報告

中野 真理 出席委員長

会員総数	53名	(31+22)名	
出席会員数	34名	(21+13)名	
出席率		77.27%	
ゲスト	3名	ビジター	2名
前回補正後	93.48%	前々回補正後	93.33%

スマイルボックス

濱谷 高弘 副S A A
神奈川IRC 金野克佐様 本日もお世話になります。
横浜MM21RC 山田晃久様 本日、お世話になります。

加野亮一君 誕生日祝い、ありがとうございます。大台に乗りました。

伊澤政宏君 早々の結婚祝い、ありがとうございます。11月5日で47年になります。今は、老々介護で日々楽しんでいます。

天野公史君 ①結婚記念日祝い、ありがとうございます。26年ですが、あっという間でした。先輩方の40年、50年に向けて頑張ります。②先日のテーブルM出席の皆様、楽しい時間をありがとうございました。

田邊正彦君 入会記念祝いをして頂けること、ありがとうございます。

江森国一君 ①朝日さん、コンペの景品をたくさん頂き、ありがとうございます。②伊藤君、卓話、よろしくお願ひ致します。

山本 登君 本日も食い逃げします。

山田正憲君 ①伊藤主峰君、本日のお話し、楽しみにしています。②皆さん、若い人をRYLAに推薦してください。

朝日達夫君 弊社ゴルフコンペにご参加の皆様、ありがとうございます。

西山 潔君 伊藤主峰君、本日の卓話、よろしくお願ひします。楽しみにしています。

植田清司君 先日のテーブルミーティング、但野テーブルマスター、天野副マスター、お疲れさまでした。有意義なひとときを過ごさせて頂きました。ありがとうございます。

但野真実子さん ①テーブルミーティングにご参加下さった皆様、ありがとうございました。②10/26神奈川ロータリークラブで、卓話をさせて頂きます。頑張ってきます！！

濱谷高弘君 ①李君、ようこそいらっしゃいました。②長井委員長、自宅療養しておりますが、そろそろ厭きてきたのではないかでしょうか。

10月23日	14件	38,500円
本年度累計		769,913円

「ロータリー親善大使として
エクアドルでの一年を終えて」

2014-15年度青少年交換学生 伊藤 主峰 様

今回はこの神奈川東ロータリークラブ例会にて卓話の機会を頂きました心から感謝しております。

貴ロータリークラブにはちょうど三年前から、2590地区青少年交換プログラムにおいて推薦ロータリークラブとして大変お世話になりました。今回の卓話では、一年のエクアドルでの派遣生活の報告ということで、一人の親善大使としてエクアドルについての紹介、一人の息子としてホストファミリーと過ごした日々、そして一人の日本人として参加した活動などについて発表していきたいと思います。



まずは、一人の親善大使として。皆様もご存じの通り、ロータリークラブの青少年交換プログラムは留学という言葉を一切用いず、派遣生または親善大使という呼び名で選抜された若者は海外に送られます。なぜなら、この青少年交換プログラムは派遣生一人一人が自分の国を紹介し、他国の異文化の理解を第一に目的とするプログラムだからです。

自分はこの一年間エクアドルという日本では名前もあまり知られていない国の文化や習慣をよく学んできました。そしてエクアドルが持つ多くの魅力に気付くことができました。

エクアドルは南米の北西、赤道直下に位置するちょうど日本の本州と九州を合わせた大きさの国です。バナナ、カカオ、海老などの生産で有名なエクアドルですが、国名がスペイン語で赤道を意味することから、1年中暑いという印象を持たれがちですが、実は国内で四つの気候が楽しめるとても気候に多様性がある国なのです。

海側はコスタと呼ばれる夏の気候の地域。国の中央はシエラと呼ばれるアンデス山脈が走る高地で、常に春の気候が楽しめます。また、国の西侧は熱帯雨林が広がるアマゾン地域で、現在でも文明のない先住民たちが住むジャングル地帯です。そしてエクアドルといえばやはり、有名なのはガラパゴス諸島です。

地域ごとにそれぞれ特有の人種がいて、公用語としてのスペイン語以外にも特有の言語や文化があります。エクアドルの歴史を振り返ると、スペイン人がエクアドル侵略を進めた際、カトリック教の文化とともに広めました。年中行事としてカトリック教の行事がありますし、各地に世界遺産にもなっている綺麗な教会があります。先日ローマ法王のフランシスコがエクアドルに訪問した際は国中がとても盛り上がってきました。

自分は学生として、校長先生がロータリアンであり、毎年留学生を受け入れるFranz Schubert校に一年間在籍していました。スペイン語の勉強は勿論、他の学校に比べて、募金、お祭り、料理クラスなどエクアドルの文化について学ぶ機会がたくさんありました。派遣生としては、他の国の留学生達と色々な旅行に行き、世界には色々な文化や価値観があることを実感しました。

続いて、一人の息子として。自分は二つのホストファミリーにお世話になりました。エクアドルでよかったと思うことのひとつは人の暖かさです。エクアドル人は愛を人に示すことが文化としてあり、また家族が近くに住んでいることから、家族の絆がとても強いです。ホストファミリーには色々なところに旅

行に連れて行ってもらい、親戚の結婚式に出席させていただったり、貴重な経験を数多くさせて頂きました。

最後に一人の日本人として。自分は日本人として、多くの活動に参加してきましたが、そのなかでもとても思い出に残っている経験として、日本人学校での教師として日本語を教えていたことがあります。そこでは、多くの日本人の方々と出会い、日本という国について、また自分が日本人としてどうあるべきかをよく考える経験となりました。

最後に改めて、神奈川東ロータリークラブの皆様に感謝をさせて頂きたいと思います。

このエクアドルでの1年間の素晴らしい経験をもとに自分は将来エクアドルと関わりのある仕事をしようと考えております。

これからはエクアドルの親善大使として、この1年間でお世話をになった多くの方々に恩返しができるよう一生懸命頑張っていきたいと思います。

ロータリーニュース

世界経済の低迷によりロータリーの投資に陰り

ロータリー財団管理委員会の10月会合で、投資委員会は、主にコモディティ市場と新興市場の下落により、ロータリーの投資収益が予想を下回ったと報告しました。

2015会計年度（2015年6月30日まで）、年次基金（運営予備金を除く）は0.2パーセントの損失を記録し、R I一般資金は2.8パーセント落ち込みました。一方、ポリオプラス基金は0.7パーセント増、恒久基金は0.5パーセント増と、ごくわずかな上昇にとどまりました。今年度第1四半期も、中国市場の伸び悩みに対する世界的懸念が金融市場に影響していることを受け、年次基金、恒久基金、R I一般資金の投資がマイナスになるとロータリーは予想しています。ポリオプラス基金は同四半期に若干のプラスになると予想されています。

現在のほぼすべての損益は含み損にとどまり、ロータリー財団は運営に必要な資金を十分に備えていることから、長期的にはロータリーの各基金の投資はこれまで順調な成果を挙げています。ただし、ロータリーの運転資本のニーズを支えるためにR I一般資金を使用する可能性もあります。

ポリオ撲滅自転車レースにDDFの寄贈を

毎年9,000人が参加して、米国アリゾナ州で104マイル（約167キロ）を走る自転車レース、「El Tour de Tucson」。今年は11月21日に開催されます。米国のトップ自転車イベントの一つであるこのレースに、今年もジョン・ヒューコ事務総長ほか8名の職員のチームが、米国アリゾナ州のロータリー会員とともに参加する予定で、現在、ポリオ撲滅活動への寄付を募っています（欧米ではこのような活動が頻繁に行われています）。

チームの寄付目標額は340万ドル。ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを含め、ポリオ撲滅への1000万ドルの募金に挑みます。去年は700万ドルを超える寄付が集まりましたが、地区財団活動資金（DDF）の寄贈がその多くを占めていました。

この募金活動を含め、本年度、ポリオプラス基金に最も多くの地区財団活動資金（DDF）を寄贈した地区を、ジョン・ジャーム会長エレクトが訪問するほか、上位5地区は2016年ソウル国際大会の舞台上で表彰されます。昨年度のポリオプラスへのDDF寄贈額第1位であった日本の2650地区には、K. R. ラビンドラン会長が直接出向き、会員に感謝する予定です。

El Tour de Tusconは、職員チームとアリゾナ州のロータリー会員だけでなく、世界中のロータリー会員が参加して、ポリオのない世界の実現を支援します。

ロータリーニュース

クラブ会員の広場

第71回、ハマ展（横浜美術協会・公募展）が横浜市民ギャラリーで11月4日から15日の期間で開催され、小池会員の写真が入選して展示されます。今回の作品は「秋鮭漁の浜辺」の題で、9月のサケ漁が始まったばかり北海道で撮影したキタキツネの3枚組の写真です。

昨年オープンした西区・伊勢山にあるギャラリーが会場です。洋画・日本画・彫刻立体も展示されていますので是非ご覧ください。

**第71回／平成27年 洋画 日本画 彫刻立体 写真
2015 ハマ展**

会期：11月4日（水）～11月15日（日）
10:00AM～6:00PM（最終日は2:00PMまで）

会場：横浜市民ギャラリー（入場無料）

主催：横浜美術協会 **共催：**横浜市文化観光局 **助成：**神奈川県
後援：横浜市芸術文化振興財團/横浜市教育委員会/神奈川県教育委員会/はまなす産業文化振興財團/横浜商工会議所/神奈川新聞社/朝日新聞社/横浜経済局/毎日新聞社/横浜支局/読売新聞社/横浜支局/TV-K（テレビ神奈川）

■ 公募規約：出品申込書を郵送で希望の方は横浜美術協会事務所へ82円切手同封の上申し込むこと。
その他市内各区役所・近隣画材店にもあります。URL：<http://www.hamaten.jp/>

■JR・市営地下鉄
桜木町駅下車徒歩10分
■京急
日ノ出町駅下車徒歩8分
■バス
「戸部1丁目」「野毛坂」
から徒歩2分：市営バス103
系統
「紅葉坂」から徒歩7分：
市営バス8・26・58・101・105
・106系統



〒220-0022 横浜市西区宮崎町26-1

2015-16年度 RYLA開催のご案内



2015-16年度 国際ロータリー第2590地区(横浜・川崎)

2016年2月20日(土)～21日(日)

協賛：横浜市野島青少年研修センター(横浜市金沢区)



Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

第32回ロータリー青少年指導者養成プログラム Rotary Youth Leadership Awards

「夢を持とう・・・叶えよう！」

ロータリー青少年指導者プログラム(RYLA)とは、クラブや地区（または複数地区合同）によって実施される、若者のためのリーダーシップ養成プログラムです。イベントは、1日のセミナーや3日間～1週間の合宿など、目的、リソース、参加者の種類によってさまざま形で実施されます。年齢に決まりはありませんが、多くのイベントは高校生、大学生、若い社会人を対象としています。イベントの目的も、家庭に問題を抱えた青少年を支援する、インター・アクトやローターアクトのリーダーシップ能力を高める、ロータリー友学と再びつながる、職業人のリーダーとなる人材を育てるなど、多岐にわたります。

第32回 RYLAプログラムの特徴

与えられたテーマに対する個々のイメージをグループ全体でまとめ、そのイメージを立体として作り上げる造形活動を行います。

自分の考えを他人に理解してもらうことや他の意見を受け入れること、そして実際のものを作る過程を体験することで個人の役割やチームワーク、更にリーダーシップを發揮してまとめて上げることの重要性を学びます。

第1日目 リーダーシップ研修講演

『夢を夢で終わらせない』
ひたむきな努力と自分を信じる心でチャレンジしよう

大橋ボクシングジム会長
東日本ボクシング協会会長
日本プロボクシング協会会長
大橋秀行



RYLA研修会場 (横浜市野島青少年研修センター)



横浜市金沢区野島町24-2 野島公園内
サービスライン野島駅下車徒歩8分
研修会場には、駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。



横浜・川崎エリアの国際ロータリー第2590地区
(箕田敏彦会長)は、2
講師の大橋秀行さん

横浜・川崎エリアの国際ロータリー第2590地区
指導者養成セミナー(RYLA)を開く。
宿泊研修は、ロータリークラブが将来の指導者を養成する目的で、若者を対象に行っている。大橋ボクシングジム＝鶴屋町＝の大橋秀行会長(日本プロボクシング会長)は、ロータリーワークが負担するため無料

若きリーダーを養成 RCが1泊研修

10月22日神奈川区版タウンニュースに記事が掲載

次回〈11月6日〉の卓話予定

テーマ「スリランカに焦点を当てて」

矢野 修二 会員